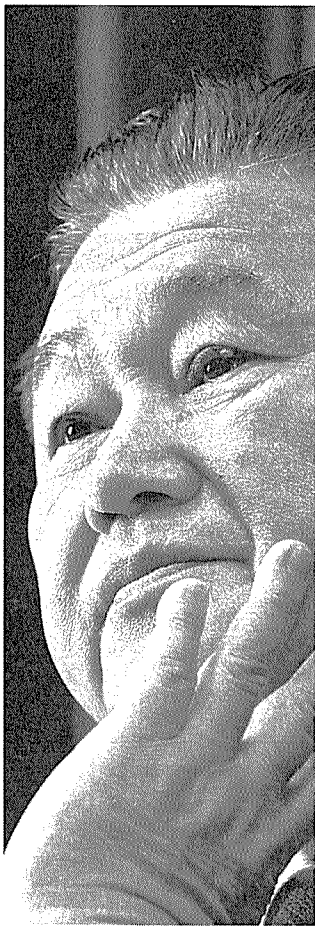


いじめ 宿命論にしない

純愛新聞

元小学校校長で東京都三鷹市教育委員会の貝ノ瀬滋委員長は、「コミュニティ・スクール」の推進者として教育界では知られた存在だ。いじめ防止の手段として注目されており、第2次



語る

教育再生 ③

東京都三鷹市
教育委員会委員長
貝ノ瀬滋氏

そこで、コミュニティ・スクールのように、地域の様々な人が学校に入

してはならない。

いじめが起きやすい理由

の二つに、これまで学校と

いう世界が、子どもと教師

だけの世界になってきたこ

とがあります。子どもを巡

る問題は年々複雑化し、正

直、教師だけで対応するの

も難しくなっています。

りし、学校に「大人の目」

が入ることが防止と早期発

見につながるんです。各学

校に設置への努力義務を規

定するようにしてもらいた

いし、最終的には義務化す

べきです。

原点は、私が東京都立教

育研究所（現教職員研修セ

ンター）で伊豆諸島などの

島嶼部を担当して回った時

でした。島には大学、大企

業がなく、島の人は

さるだけ本土の高校に通わ

せようとしています。その際、

中学卒業までに一人前に育

って東京でも暮らせるよう

にと、地域の大人たちが熱

心に学校に協力していたの

です。それにつられてか、

教師も一生懸命指導する。

私は感激しました。

貝ノ瀬氏は教育再生実

学校に「地域の日」 防止と早期発見

コミュニティ・スクール（地域運営学校）保護者や地域住民らが学校運営に参画できるよう、2004年に制度化された。運営方針づくりや教員任用などに関与できる。年々増加し、12年4月現在で全国の小中学校などで1183校が指定。貝ノ瀬氏は04年、校長を務めた三鷹市の市立小学校で導入し、三鷹市は現在、すべての市立小中学校に導入している。

アベデュケーションで教育創生も

の「アベ」と、教育の「エデュケーション」をかけたものです。首相は「教育再生は経済再生と並ぶ日本国の最重要課題だ」とおっしゃっていますが、それならば教育への投資を増やすべきです。教育は経済再生の基盤になるからです。教育再生も大事だが、「教育創生」も大事です。

子ども一人一人の立場に立つて最善の方法を考えるためには、少人数のクラスでじっくり教育指導ができるよう教員増は不可欠だ。担任以外にいじめに対応できる専門の教員配置も増やす必要があります。日本の教育投資の対国内総生産（GDP）比率は、他の先進国に比べて際だって低い。首相が本気で教育を大事にしたいというなら、政治主導の思い切った決断が必要だ。「聖職なんだから頑張り」という精神論だけではダメだ。

私は、安倍内閣の教育政策を「アベデュケーション」と名付けました。安倍首相